



東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

10月、神無月。日本中の神様が出雲に集まるので、出雲以外の地方では神無月と呼び、逆に出雲の国では神有月と呼ばれるとか。ウィットに富む考え方です。出雲大社では60年に一度の遷宮が5月10日に執り行われました。そして今年10月は、日本の神様の筆頭格である伊勢神宮で遷宮儀式が行われます。20年に1度、今年で第62回で社殿や神宝・装束をすべて一新して新社殿にご神体を移す式年遷宮は10月2日夜、内宮でクライマックスの「遷御(せんぎょ)」の儀を迎えます。一回の御遷宮には莫大な量の御用材を必要とするため、将来如何に調達するか植林計画も立てられており、平成85年まで、そしてその後についても御用材は確保されているとのこと。日本人は実は常に200年位先までの長期国家方策を行使している民族なのだ、東大の先生が述べておられます。

オリンピックは7年後に東京開催と決まりました。200年先までは無理でも、7年先位までの事業計画は立てたいものです。震災の放射能汚染除去も世界中から英知を集めて、7年後には海外のお客様に胸を張って福島を案内できるよ、夫々が出来ることを協力しなければなりません。東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理をお受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



トンボとコスモス

★羅針盤

鉄スクラップ →

銅 →

アルミ →

プラスチック →

9月予測の自己評価

鉄スクラップ ○

銅 ○

鉄・非鉄スクラップ・市況からの10月予測

営業部 Y の考察

考察) 9月の東京製鉄宇都宮工場の特級価格は、34,500円/トンでスタート。最終的には35,000円/トン。輸出は様子見が続いているため、10月は他所の上げ下げはあると思いますが、横ばいでしょう。

考察) 9月はLME7,100ドル台/トン、国内銅建値760,000円/トンでスタートしましたが、2日にははいきなり20,000円/トン下げになり、中盤上げ下げを行い、最終的にはLME7,300ドル/トンとなり、国内銅建値750,000円/トンで終わりました。LMEが上がっても円高になったため、国内銅建値は上がりませんでした。10月は、アメリカの予算審議の問題等の情勢次第で影響は出ますが、円高が進んでいるため、下がると思われます。

考察) LME1,810ドル/トンでスタート。後半に、発生薄から2,000~3,000円/トンの上げが期待されましたが、円高により止まってしまったようです。LME自体も最終的には1,800ドル台/トン。10月も横ばいでしょう。

考察) 自治体のペットはかなり高い価格で動いているようですが、他のプラスチックはまったく動きなし。10月も同様でしょう。

アルミ ×

プラスチック ○



私の野球人生

(第6回)

今回は、リトルリーグの一員として台湾遠征で知った日本の良さや、当時の台湾の様子などを連載しました。今回は、最終戦となりますが、野球のことをお話ししたいと思います。

ここまでの成績は2勝3敗と負け越しており、いよいよ最終戦で、世界一になった美和(びわ)との対戦です。場所は台北から試合を重ねて、台中、そして最終戦は台南での試合でした。

台南は当時、台北よりも貧しい街で、はだして歩いている子供や破れたシャツを着た人たちが多く、ここでも改めて日本の良さを感じたことは30年以上経った今も忘れません。

さて、肝心の試合です。観客は満員で警備も多いのに驚かされましたが、この試合を当時の台湾の総統が観戦に来られており、試合前に両チームの選手一人一人と握手をし、異様な雰囲気の中で、試合開始となりました。

両チームともエースの投げ合いから始まり、私も七番セカンドで先発メンバーとして出場しました。

相手チームの投手は、球はそんなに速くありませんでしたが、コントロールが良く、変化球がすごかったことを覚えています。

中学生レベルですと、変化球がすごいと、なかなか打てる技術はなく、2回の我々日本チームの攻撃が終了した時点で、点は取れないと思っていました。

また、台湾チームは攻撃力もすごく、3回の攻撃から日本チームのエースがつかまり初め、3回を終了した時点で6対0と完全に突き放されてしまいました。中学生(シニアリーグ)の試合は7回までで終了のため、残す攻撃は4回ありましたが、点を取るところか、ヒットすら打てない状況で試合は進んでいきました。

我々も日本一になったチーム、このままでは終われないと奮起しましたが、ヒット1本打つのがやっとで、さらに台湾チームにはホームラン2本まで打たれ、10対0のまま最終回を迎えましたが、最後の攻撃も簡単に3人で終了してしまい、0対10、ヒット1本と完敗で台湾遠征の最終日を終了しました。

対戦成績2勝4敗で終了した台湾遠征、12月26日から1月5日までと初めての海外での正月も体験でき、数々の思い出と、言葉が通じない相手との試合を体験できたことは、遠い思い出ですが今でも心に残っています。台湾は食べ物も美味しく、気候も良く、すごく好きになった国です。

あの当時とすべてが変わっている現在の台湾に、野球ではなく観光で行くことが今の私の小さな夢であります...

溝口 仁 (営業部主任)

★羅針盤

東港金属天童支店(3)

東港金属の非鉄金属製品加工販売を担当している、天童支店の紹介も第3回です。天童支店所在地付近の紹介、天童市の名のいわれ等をお話しましたが、今号では、天童近辺(山形県)の食の紹介と、天童支店のメンバーを紹介します。

山形県は、果実の宝石「さくらんぼ」果実の女王「ラフランス」そして「りんご」など、果樹栽培に適した気候風土に恵まれ、その生産量、種類ともに全国有数の果樹生産県になっています。また、そば街道も有名ですが、今回おすすめのお食文化は「芋煮会」です。

その歴史は江戸時代に遡り、コメの不作に備えて里芋が作られておりました。芋煮自体は家庭料理として食べられていましたが、野外で集団での鍋料理を囲む収穫祭的な意味合いの行事として芋煮会がはじまったようです。

時期的には夏の終わりから秋にかけて行われますが、現在では多様化した芋煮会プランが商品化され、アウトドア施設、遊園地温泉旅館、紅葉スポット、溪流(釣り、カヌー)、海岸(釣り)などの組み合わせで芋煮会が行われるようになりました。

味付けは、味噌ベースの汁に豚肉を入れる「豚汁風」や、主に山形県内陸部で食べられている醤油ベースの汁に牛肉を入れる「すき焼き風」があります。今年開催された「第25回日本一の芋煮会フェスティバル」では、塩味も登場したようで、大変好評で即完売したそうです。

ただ、芋煮の味のベースは何と言っても人情味であることを知っておいてください。

河原周辺のスーパーやコンビニでは、芋煮会セットの貸し出しもあり、気楽に楽しめるようになっており、手ぶらでも始められる気軽さがあります。山形にお越しのさいは、ぜひご賞味を。

天童支店は、そんな人情味いっぱいの環境に囲まれて、近隣の企業のために、非鉄金属製品の加工販売のプロフェッショナルとして、皆様と共に歩いております。

メンバー6名中、支店長以下の4名は、業界歴30年を越す大ベテランです。支店全員のお客様への心構えは、「ご注文、お見積の対応、非鉄金属の事はお任せください。即答、即納致します。そしてお客様に喜んでいただけるよう日々勉強精進して参ります」です。

都市型総合リサイクラーという括りの弊社の中で、無駄を省いた資源循環を目標に、多品種、小ロットで金属加工販売をお引き受けいたしております。天童支店を宜しくお願い致します。